

大阪府工業指数2025年9月【速報】

毎月の生産・出荷・在庫の推移

1 概況

(1) 生産指数…87.7 前月比6.4% 3か月ぶりの上昇(季節調整済指数)

業種別にみると、金属製品工業、石油・石炭製品工業など12業種が上昇し、生産用機械工業、鉄鋼・非鉄金属工業の2業種が低下した。

品目別にみると、橋りょう、ショベル系掘削機械等が上昇した。

また、前年同月比(原指数)は、▲0.8%と3か月連続の低下となった。

(2) 出荷指数…88.4 前月比6.8% 3か月ぶりの上昇(季節調整済指数)

業種別にみると、金属製品工業、電気・情報通信機械工業など12業種が上昇し、鉄鋼・非鉄金属工業、化学工業の2業種が低下した。

品目別にみると、橋りょう、リチウムイオン蓄電池等が上昇した。

また、前年同月比(原指数)は、▲2.9%と3か月連続の低下となった。

(3) 在庫指数…101.5 前月比0.3% 2か月ぶりの上昇(季節調整済指数)

業種別にみると、電気・情報通信機械工業、汎用・業務用機械工業など8業種が上昇し、食料品工業、鉄鋼・非鉄金属工業など5業種が低下した。

品目別にみると、装輪式トラクタ、柔軟仕上げ剤等が上昇した。

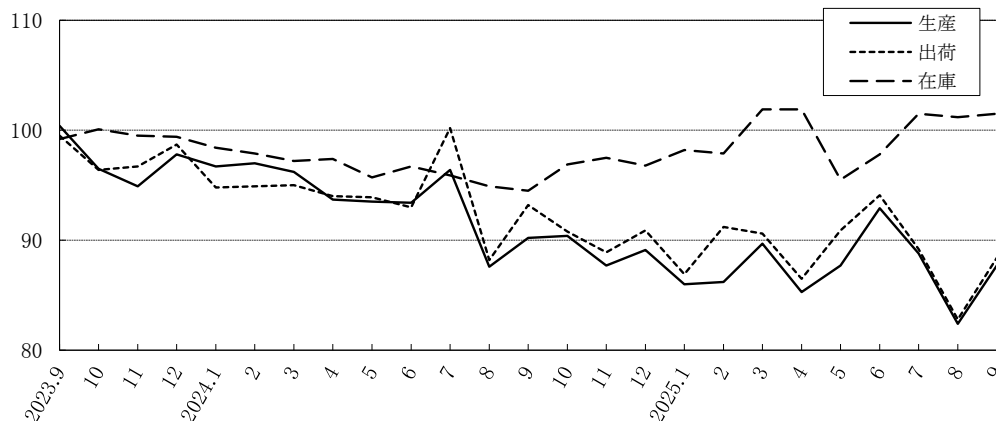
また、前年同月比(原指数)は、7.5%と4か月連続の上昇となった。

2020年=100

区 分		季節調整済指数		原 指 数	
			前 月 比 (%)		前年同月比(%)
生 産	2025 年 8 月	82.4	▲7.2	73.6	▲7.9
	2025 年 9 月	87.7	6.4	88.4	▲0.8
出 荷	2025 年 8 月	82.8	▲7.2	74.9	▲8.3
	2025 年 9 月	88.4	6.8	90.6	▲2.9
在 庫	2025 年 8 月	101.2	▲0.3	102.9	6.6
	2025 年 9 月	101.5	0.3	101.6	7.5

生産・出荷・在庫の推移

数値は季節調整済指数



2 業種分類別・品目別動向(寄与度順)

(1)生産 前月比 6.4% 上昇 12 業種
低下 2 業種
横ばい 0 業種 計 14 業種

区分	業種分類	寄与度	前月比 (%)	主な品目
上昇	金属製品工業	3.168	37.1	橋りょう、スチール製缶
	石油・石炭製品工業	1.567	38.0	ナフサ、重油
	輸送機械工業	1.170	20.5	軽乗用車、駆動伝導・操縦装置部品
	汎用・業務用機械工業	0.552	6.2	一般用バルブ・コック、油圧機器
	電気・情報通信機械工業	0.530	6.6	リチウムイオン蓄電池、 セパレート形エアコン(室外)
	化学工業	0.247	1.7	ポリプロピレン、柔軟仕上り剤
	その他工業	0.144	2.0	マーキングペン、ゴムベルト
	窯業・土石製品工業	0.109	7.6	生コンクリート、電気用陶磁器
	プラスチック製品工業	0.092	2.6	プラスチック製フィルム・シート、 プラスチック製継手
	パルプ・紙・紙加工品工業	0.014	0.7	段ボールシート
	食料品工業	0.011	0.1	ウイスキー、砂糖
	電子部品・デバイス工業	0.003	0.7	電子回路基板
	その他の上昇した品目			ショベル系掘削機械【生産用機械工業】、 ガソリン【石油・石炭製品工業】
低下	生産用機械工業	▲ 0.582	▲ 4.5	プレス用金型、金属工作専用機
	鉄鋼・非鉄金属工業	▲ 0.347	▲ 2.8	普通鋼H形鋼、鋼半製品
	その他の低下した品目			医薬品【化学工業】、 鉄道車両【輸送機械工業】

注:業種分類、品目は寄与度順で掲載

寄与度上位10品目

区分	順位	品目	業種分類
上昇	1	橋りょう	金属製品工業
	2	ショベル系掘削機械	生産用機械工業
	3	ナフサ	石油・石炭製品工業
	4	重油	石油・石炭製品工業
	5	一般用バルブ・コック	汎用・業務用機械工業
	6	ウイスキー	食料品工業
	7	リチウムイオン蓄電池	電気・情報通信機械工業
	8	ガソリン	石油・石炭製品工業
	9	ポリプロピレン	化学工業
	10	柔軟仕上り剤	化学工業
低下	1	医薬品	化学工業
	2	鉄道車両	輸送機械工業
	3	プレス用金型	生産用機械工業
	4	チョコレート	食料品工業
	5	鉄道車両部品	輸送機械工業
	6	金属工作専用機	生産用機械工業
	7	普通鋼H形鋼	鉄鋼・非鉄金属工業
	8	機械プレス	生産用機械工業
	9	化粧品	化学工業
	10	鋼半製品	鉄鋼・非鉄金属工業

(2)出荷 前月比 6.8% 上昇 12 業種
低下 2 業種
横ばい 0 業種 計 14 業種

区分	業種分類	寄与度	前月比 (%)	主な品目
上昇	金属製品工業	3.637	39.1	橋りょう、架線金物
	電気・情報通信機械工業	1.688	29.1	リチウムイオン蓄電池、プロジェクタ
	食料品工業	0.703	6.6	ウイスキー、チョコレート
	輸送機械工業	0.373	5.4	軽乗用車、 輸送機械用エアコン(除、乗用車用)
	汎用・業務用機械工業	0.294	3.3	一般用バルブ・コック、油圧機器
	石油・石炭製品工業	0.234	2.8	ナフサ、精製・混合原料油
	その他工業	0.172	2.7	工業用ゴム製品、マーキングペン
	パルプ・紙・紙加工品工業	0.074	4.4	紙器用板紙
	生産用機械工業	0.055	0.6	ショベル系掘削機械、化学機械
	窯業・土石製品工業	0.053	4.8	生コンクリート、電気用陶磁器
	プラスチック製品工業	0.040	0.9	プラスチック製フィルム・シート、 プラスチック製日用品・雑貨
	電子部品・デバイス工業	0.014	3.1	電子回路基板
	その他の上昇した品目			プロピレン【化学工業】、 エチレン【化学工業】
低下	鉄鋼・非鉄金属工業	▲ 0.264	▲ 1.8	普通鋼H形鋼、メーカー向け銅裸線
	化学工業	▲ 0.014	▲ 0.1	医薬品、化粧品
	その他の低下した品目			鉄道車両【輸送機械工業】、 軽油【石油・石炭製品工業】

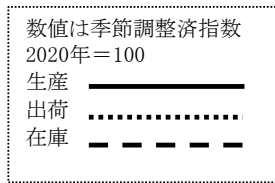
注:業種分類、品目は寄与度順で掲載

(3)在庫 前月比 0.3% 上昇 8 業種
低下 5 業種
横ばい 0 業種 計 13 業種

区分	業種分類	寄与度	前月比 (%)	主な品目
上昇	電気・情報通信機械工業	0.344	2.9	セパレート形エアコン(室外)、乾電池
	汎用・業務用機械工業	0.210	2.5	軸受、汎用内燃機関
	輸送機械工業	0.203	23.9	電動アシスト自転車
	化学工業	0.199	1.4	柔軟仕上り剤、フェノール
	石油・石炭製品工業	0.059	1.6	軽油、重油
	プラスチック製品工業	0.051	1.2	プラスチック製パイプ、プラスチック製継手
	金属製品工業	0.045	0.5	スチール製缶、飲料用アルミニウム缶
	生産用機械工業	0.014	0.1	装輪式トラクタ、ショベル系掘削機械
	その他の上昇した品目			合成アセトン【化学工業】、 特殊鋼熱間圧延鋼材【鉄鋼・非鉄金属工業】
低下	食料品工業	▲ 0.540	▲ 9.7	チョコレート
	鉄鋼・非鉄金属工業	▲ 0.454	▲ 1.9	鋼半製品、普通鋼H形鋼
	その他工業	▲ 0.033	▲ 0.6	タフテッドカーペット、工業用ゴム製品
	パルプ・紙・紙加工品工業	▲ 0.015	▲ 1.4	段ボール原紙
	窯業・土石製品工業	▲ 0.004	▲ 0.6	ファインセラミックス(構造材)、耐火れんが
	その他の低下した品目			ポリプロピレン【化学工業】、 ビスフェノールA【化学工業】

注:業種分類、品目は寄与度順で掲載

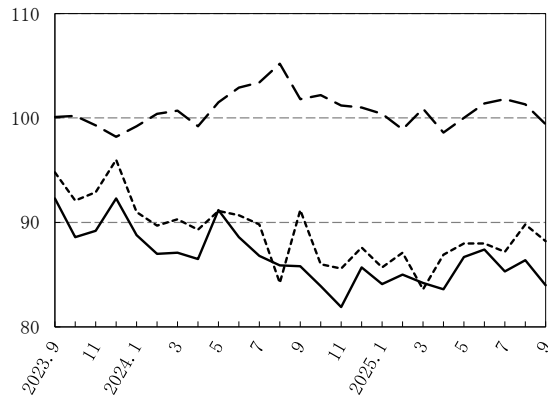
3 業種分類別の推移



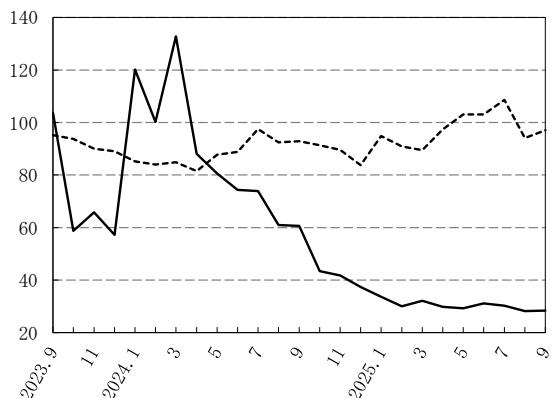
汎用・業務用機械工業



鉄鋼・非鉄金属工業



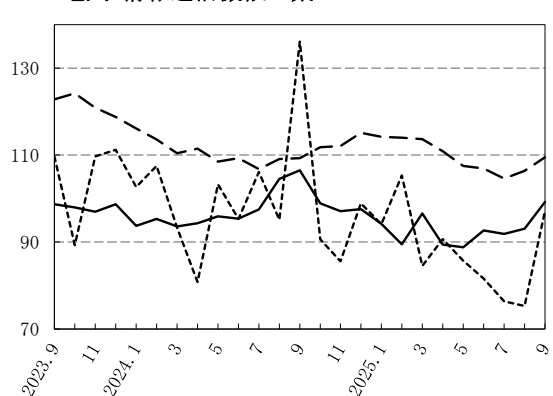
電子部品・デバイス工業



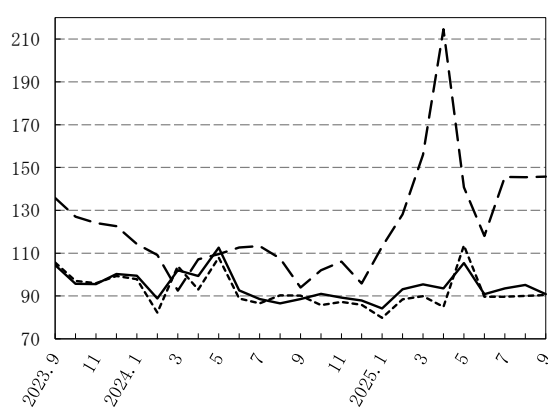
金属製品工業



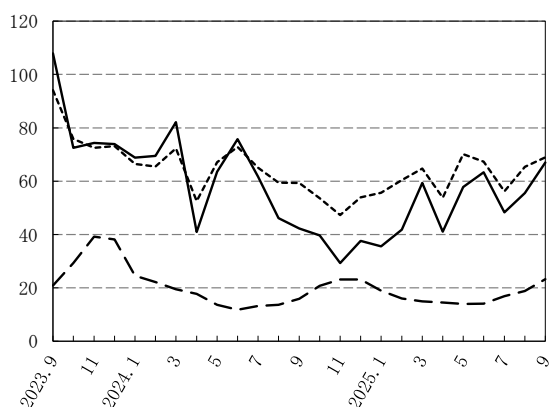
電気・情報通信機械工業

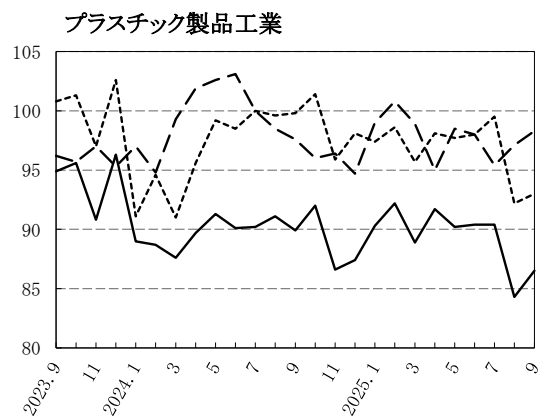
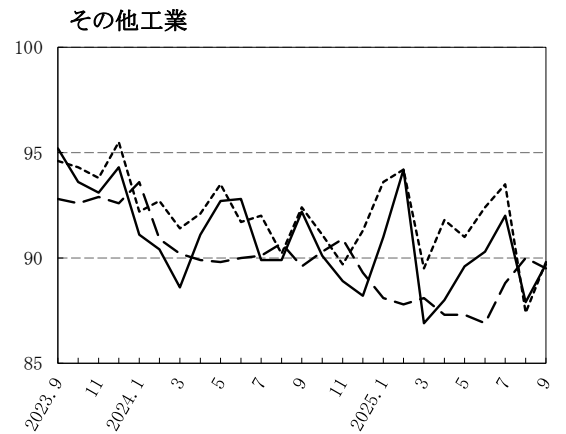
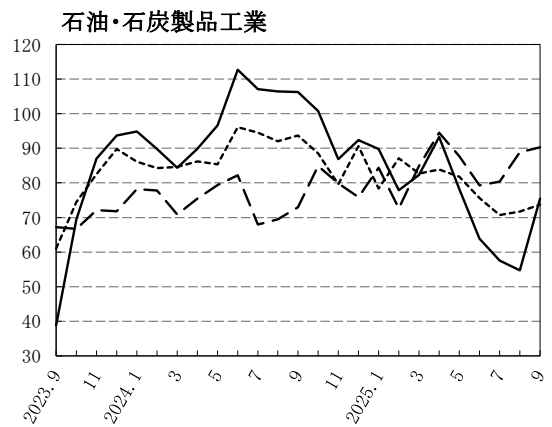
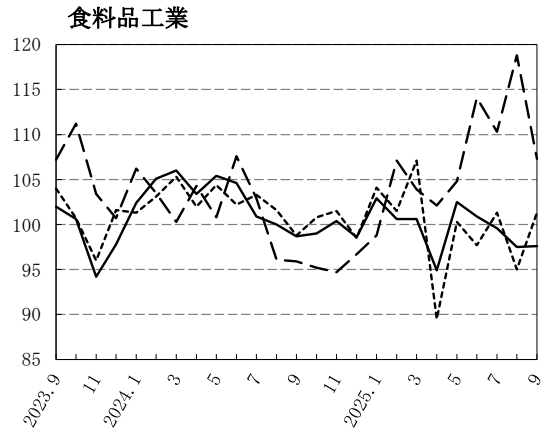
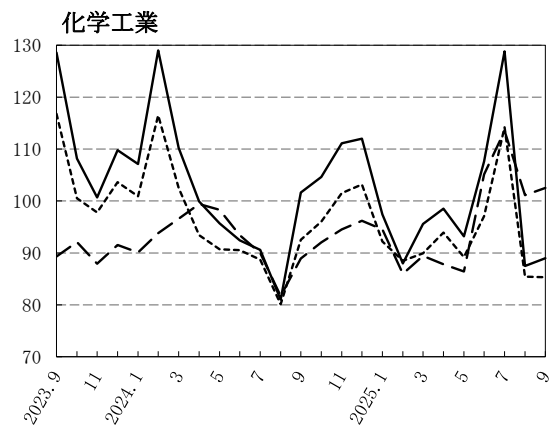
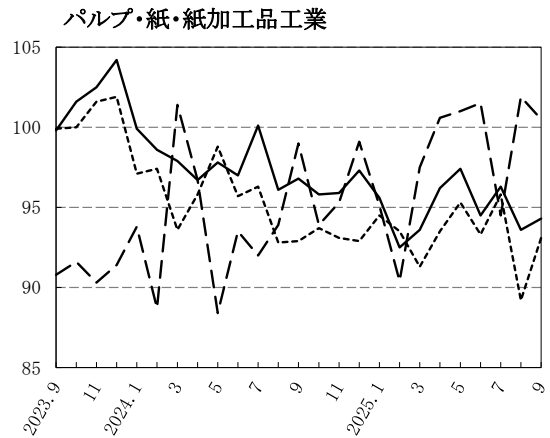
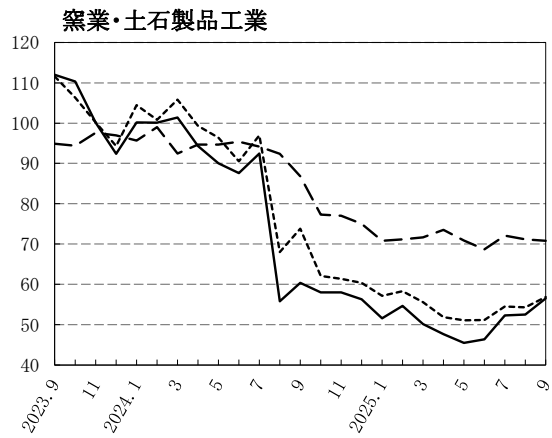


生産用機械工業



輸送機械工業





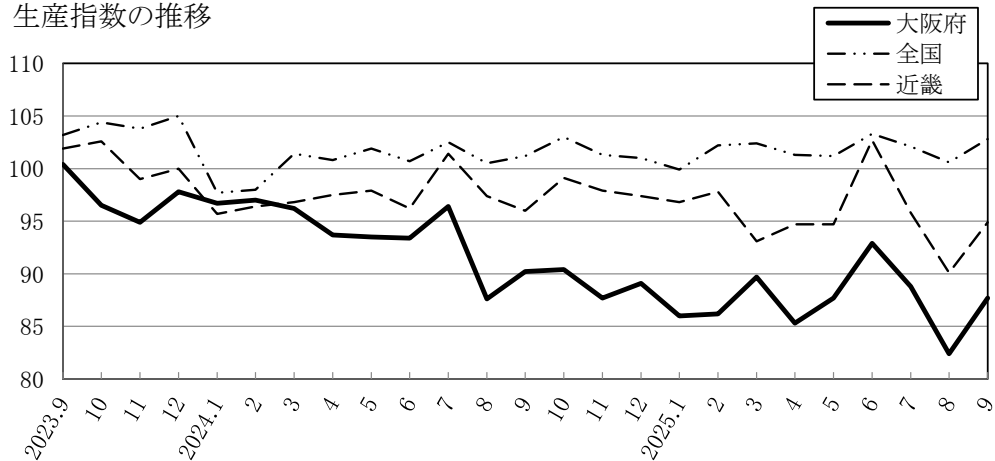
4 全国・近畿の状況(速報)

2020年=100

	大阪府		全国		近畿	
	季節調整済指数	前月比(%)	季節調整済指数	前月比(%)	季節調整済指数	前月比(%)
生産	87.7	6.4	102.8	2.2	94.9	5.3
出荷	88.4	6.8	100.2	0.7	92.9	4.0
在庫	101.5	0.3	99.6	0.5	108.5	0.5

注:「全国」は経済産業省、「近畿」は近畿経済産業局が、それぞれ公表したもの

生産指数の推移



1 基準年

基準時及びウェイト算定年は、2020年(令和2年)です。

2020年(令和2年)基準の指数値は、2024年1月速報(2024年3月29日公表)から公表しています。

2 数値・符号

(1)掲載している指数値は、当月は速報値、前月は確報値です。

(2)本文中及び統計表等で用いる符号については、次のとおりです。

「▲」…… 負数であることを示す。

3 季節調整

原指数には季節変動(操業日数や決算時期による生産増減、気候や社会風習(中元、歳暮など)による需給変動など1年間でほぼ規則的に繰り返される動き)が含まれており、原指数から季節変動分を除去したものを季節調整済指数といいます。

前年同月比や年単位の動向をみる場合には原指数、前月比や足下の動向をみる場合には季節調整済指数を利用します。

4 寄与度

ある業種(品目)の増減が業種(品目)トータルでの生産指数、出荷指数、在庫指数の伸び率を何ポイント押し上げ(押し下げ)ているかを示す数値です。

寄与度 = $\frac{\text{今月のA業種(品目)の指数} - \text{前月のA業種(品目)の指数}}{\text{前月の業種(品目)トータルの指数}} \times \frac{\text{A業種(品目)のウェイト}}{\text{業種(品目)トータルのウェイト}} \times 100$

寄与度については、計算の過程で季節調整等の要素による誤差が発生するため、寄与度の合計値は製造工業全体の増減値と一致しない場合があります。

※経済産業省生産動態統計調査など指数値の計算に利用するデータについて、

2024年の実数値が補正されたため、同年の指数値を補正しました(年間補正)。

2025年6月速報(2025年8月29日公表)から補正後の指数値を用いています。

年間補正は毎年実施しますので、2025年1月以降の指数値も今後変わることがあります。

▼詳細な統計データや工業指数については、大阪府ホームページをご覧ください。

大阪府ホームページ「大阪府工業指数」 <https://www.pref.osaka.lg.jp/o040090/toukei/iip/index.html>

▼本資料についての問合せは下記をお願いします。

大阪府総務部統計課 分析・利活用促進グループ 工業指数担当 TEL: 06(6210)9195(直通)